



**増築工事（第1期工事）完了～  
外来診療ゾーン拡充工事（第2期工事）へ**

**回復期リハビリテーション病棟  
新しいステージへ**

昨年秋よりすすめてきました「回復期リハビリテーション病棟増築工事」が5月末をもって完了し、6月1日、新しいスタッフステーションでの業務が開始しました。療養中の患者・家族の皆さん、地域の皆さんには大変ご迷惑をおかけしましたが、引き続き、今秋を目途に行います「外来診療ゾーン」拡充のための既存棟改修工事につきましても、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

さて今回の工事により当院の「回復期リハビリテーション病棟」（以下「回リハ病棟」）は、40床2病棟、計80床（従来は30床2病棟、計60床）となりました。これはより多くの「回復期のリハビリテーション」を必要とする患者さんの期待に応えさせていただこうとするものであり、急性期医療を提供する病院、在宅医療を支える診療所との、より幅の広い連携をすすめるようとするものです。琵琶湖中央病院は「地域と結び合う医療」の実践の更なる発展を今後とも目指します。

「増築工事」完了のご報告の機会に当院の「回リハ病棟」の特徴について紹介させていただきます。厚生労働省が定める「施設基準」というものがあり、「回リハ病棟」には3段階の基準があります。基準が高くなるということは求められる要件が厳しくなることを意味するわけですが、当院の「回リハ病棟」は、その最も高い基準をクリアしている、全国的にも数少ない病棟のひとつとなっています。滋賀県下でこの基準、すなわち「回復期リハビリテーション病棟入院料1.」の施設基準を得ているのは当院のみとなっています。この基準のポイントは「急性期病院からできるだけ早く患者を受け入れ、確実に在宅復帰に結びつけるリハビリテーション医療を提供する」ところにあります。

当院の現状実績は入院患者の3割以上が重症患者で、退院患者の7割以上が在宅に復帰されています。その為に当院では、その他の基準（回リハ病棟入院料2. 及び3.）の病院よりも多くの看護師、セラピスト（PT、OT、ST）の専従配置を行っています。これに加え、それぞれの「回リハ病棟」に病棟専従の医師、社会福祉士（ソーシャルワーカー）を配置し、体制の強化を図っています。そして神経内科専門医（脳卒中専門医）、脳神経外科専門医、さまざまな合併症に対応する内科医師グループ、そして80名を超えるセラピスト集団がこの「回リハ病棟」を支え、チーム医療を推進しています。

当院は創立30周年を超え、「回リハ病棟」は開設6年目に入りました。病院全体が新しいステージに入り、当院の「回復期リハビリテーション医療、看護、療法」もまた更なる「質の向上」を目指します。ご期待をいただくとともに、叱咤激励、よろしく願いたします。

**「整形外科」診察……6月～  
毎週金曜日午前診察が始まります**

現在当院では毎週木曜日と土曜日に「整形外科」診察を行っていますが、6月より新たに金曜日においても「整形外科」診察を開始します。これにより、毎週木曜日から土曜日に「整形外科」診察を行うこととなります。水曜日は現行通りの第1及び第3水曜が診察日です。どうぞご活用下さい。

**～担当医師の紹介～金曜日整形外科**

**西 田 俊 晴**

- ・日本整形外科学会専門医
- ・日本整形外科学会認定脊椎脊髄専門医
- ・日本整形外科学会認定リウマチ専門医
- ・日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション専門医

等